

学生各位

卒業論文及びレポート等の執筆における生成 AI の使用に関する注意事項

育英大学・育英短期大学

教務委員会

生成 AI は、適切に利用することで、私たちの多様な活動を効率化し、創造的活動をさらに発展させる有益なツールとなり得ます。文章の要約や情報収集、インプットとアウトプットの場面での活用など、教育上も有用であると指摘されています。生成 AI の大きな特徴は、大量のデータからパターンを学習し、それをもとに新たなアイデアやコンテンツを作り出す点にあります。つまり、無から有を生み出すわけではないことを理解しておく必要があります。

一方で、著作権侵害の危険性、結果の妥当性への疑問、機密情報の漏洩への懸念なども指摘されています。また、急速に普及する新技術に対し、それを適切に活用するための社会的なルールの整備が十分に追いついていないのが現状です。

上記の状況を踏まえ、本学の卒業論文及びレポート等の作成にあたっては、以下の項目について十分に留意してください。

1. 著作権の侵害への注意

生成 AI が出力した情報や文章には出典が示されない場合が多く、そのまま転用すれば他者の成果物を盗用する行為に該当する可能性があります。卒業論文及びレポート等が盗用と判断されれば不正行為とみなされます。

2. 情報・内容の信頼性への注意

生成 AI が出力した情報は、その正否が精査されないまま利用されている場合があります。その結果、現実には即していない内容や矛盾した不正確な情報を用いてしまうおそれがあります。生成 AI によって得た情報や文章の妥当性・正当性については、常に批判的に検証してください。

3. 情報漏洩への注意

個人情報などを生成 AI に入力してしまうと、生成 AI がその情報を学習することとなり、意図せず外部に漏洩する危険があります。そのため、特定の個人や大学に関する機微な情報の入力を禁止します。

以上